

令和6年度 事業計画書

社会福祉法人 健善富会

真生保育園

1 ・ 保育の概要

① 定員

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員	9	15	16	16	17	17	90
4月	5	15	18	18	19	18	93
3月予測	7	15	18	18	19	18	95

② 職員数

施設長	主任保育士	保育士	栄養士	調理員	事務	看護師	保育補助	延長保育	用務
1	1	17	2	4	1	1	2	2	1

2 ・

保育理念 すべての子どもたちとその家族の幸福を願い、将来、子ども達が世の為、他人の為に働ける人にそれぞれの分野において、社会貢献できる人になれるよう支援する。

保育方針 一人ひとりを大切に、肌理細やかに丁寧に保育をする。

保育目標 子どもの社会性、主体性、意欲を培う。

3 ・ 保育時間

	月～金	延長保育	土
通常保育	7時～18時	18時～20時	7時～18時
短時間保育	9時～17時		9時～17時

4 ・ 特別保育事業、健康管理

特別保育事業	*延長保育事業	*障害児保育事業	*産休明け保育事業
児童の健康管理	*内科検診(年2回) *歯科検診・尿検査(年1回) *身体測定(毎月)		
職員の健康管理	*細菌検査(0歳、調理職員月4回・他月2回) *健康診断(年1回)		

5 ・ 給食、食育

- 旬の食材を取り入れ、季節感や行事を大切にし食を通して日本の伝統文化を伝えていけるよう献立に盛り込んでいる。
- 野菜を育てたり、野菜の皮むき等のお手伝い、調理を経験し、子どもの食に対する意欲を高め、おいしく楽しく食べられるようにする。
- 献立表の発行を行う。行事食、離乳食、アレルギー対応。

6 ・ 防災計画、安全対策

- *防災計画の実施
- *避難訓練の実施(月1回)、消防署による消火訓練(年1回)
- *緊急連絡先の登録
- *非常用飲料水、食物の確保
- *緊急通報装置の設置

7 ・ 年間行事予定 、 定例行事予定

月	保育行事	保健	定例行事
4月			造形教室
5月	社会見学	内科検診	体育指導
6月	年長お楽しみ会、懇談会	歯科検診	クラス会議
7月	保育体験		職員会議
8月	水遊び		給食会議
9月	保育参観 個人面談	ゴキブリ駆除、尿検査	絵本会議
10月	FSD、芋ほり	内科検診	リーダー会議
11月	秋祭り		避難訓練
12月	子ども劇場、クリスマス会		身体測定
1月	保育参観、観劇会		園内研修
2月	入所前説明会		WEB研修
3月	思い出会、卒園式、移行準備	ゴキブリ駆除	その他イベント

8 ・ 外部講師による教室

* 体育指導 ……(週1回) 基礎体力を養い、運動の楽しさを知る

* 造形教室 ……(週1回) 表現することを通し、豊かな感性、想像力、表現する力を養う

8 ・ 年間研修予定

園内	* わらべうた研修 (9月:高橋静代先生・11月:知念尚美先生 ※予定) * 吉本先生研修 * WEB研修 * 絵本、積み木研修 他
外部	* 施設長、主任、保育士、栄養士、看護師、新人研修 * 公開保育 * キャリアアップ研修 * WEB研修 * 幼保小連携会議 * 地域会議 他

<令和6年度 取り組み>

* 10の姿への理解と、年長児アプローチカリキュラムへの取り組み

- ・ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」と「年長児アプローチカリキュラム」への取り組みに重点を置き、園内で研修チームを作り、クラスや年齢の枠を超え、園全体で年単位で取り組んでいく。幼児だけが中心とならず、0歳からの育ちに目を向け、すべての年齢においての必要な育ちや保育士の関わりを大切に、健康で豊かな成長を育めるよう努め、非認知能力への理解や、子どもたちの社会性、主体性、意欲を大切にする保育を目指していく。
- ・ 幼児の発達や学びの連続性を保障するためには、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を図ることが重要と捉え、小学校以降の子どもの発達を見通した上で、幼児期に育てるべき力を考えながら保育の実践とアプローチカリキュラムを計画をしていく。保育方針である「絵本と遊び」から「学びの芽生えの土台となる力」を育てていくことを目指し、生活や遊び、経験を積み重ねることを通して、子ども自身が生きる力と愛されていることを実感できるような関わりを大切に保育に取り組んでいく。